

哲學研究

第四十八卷 第一册

第五百五十五號（昭和六十三年度號 I）

平成二年三月二十日發行

彙報	ヘーゲル哲学の本邦渡来……………酒井修	——その『論理学』の研究のために——	マルブランシュの天使論……………依田義右	と悪魔論	歴史と世界……………早瀬明	——青年ヘーゲルの歴史経験——	フイヒテ哲学の上り道……………阿部典子	における自覚	〔討議〕情報の物理学と哲学……………品川嘉也	——大庭健氏の批評に答える——	〔書評〕隈元忠敬著……………長澤邦彦	『フイヒテ「全知識学の基礎」の研究』	小川侃著……………野村直正	『現象のロゴス——構造論的現象学の試み』
----	---------------------	--------------------	----------------------	------	---------------	-----------------	---------------------	--------	------------------------	-----------------	--------------------	--------------------	---------------	----------------------

京都大學文學部内
京都哲學會

京都哲學會規約

- 一、本會は廣義における哲學の研究とその普及を圖ることを目的とする
- 一、右の目的のために左の事業を行う
 - (一) 會誌「哲學研究」を發行する
 - (二) 毎年公開講演會を開く
 - (三) 隨時研究會を開く
- 一、本會の事業を遂行するために委員若干名をおく
委員は京都大學文學部哲學科教官及び委員會において推薦したものに委嘱する
- 一、本會は賛助員若干名をおく 賛助員は會員の中から委員會が推薦する
- 一、本會は會員組織とし會員には資格の制限を設けない 學校・圖書館・其他の團體は團體の名を以て入會することができる
- 一、會員は會費として年三、六〇〇圓(會誌代を含む)を前納する
- 一、會員は會誌の配布を受け會誌に豫告する諸種の行事に出席することができる
- 一、本會は事務所を京都大學文學部内におく
- 一、規約の改正は委員會の決定による

京都哲學會役員

委員

池田秀三 内山勝彦 内山俊行 内山直能 木曾好平 佐々木丞三 清水善三 清水御代 簡井清坦 德永宗雄 中谷久郎 西谷裕作 長谷正當 濱野研三 平野俊二 宝月誠己 御牧克己 水垣涉郎 森垣哲郎 山本耕平 吉岡健二郎

前 号 目 次	
空と慈悲……………	梶 山 雄 一
法律学と哲学……………	田 中 成 明
——実践哲学の復権の一例 面——	
劇としての『精神現象学』……………	門 脇 健
——ヘーゲルの見たハムレ ット——	
スピノザの倫理思想における 目的因の否定……………	真 田 郷 史
——人間本性の型 (Exemplar humanae naturae) をめぐって——	
〔資料〕西田幾多郎・全集未収載遺稿(四)	
〔回想〕『哲学研究』の思い出……………	小 田 田 武
〔書評〕野本和幸著……………	藤 本 隆 志
『フレーゲの言語哲学』	
彙 報	
『哲学研究』第四十七卷総目録	

する意欲的な試みである。著者が述べるように、いま望まれるのは、事象そのものを具体的な経験の基盤から自らの手で問う態度である。本書は、その成果と更なる問いへの指示となつて

て、我々に多くの示唆を与えてくれている。
 (筆者のむら・なおまさ 京都産業大学〔仏語〕非常勤講師)

次 号 論 文 予 告

カントとヘーゲル……………青 木 茂	——神の存在論的証明をめぐる——
日本絵画における写真と空間の問題……………佐々木 丞 平	
デカルトの判断論……………倉 田 隆	——『規則論』における知性の判断について——
マイスター・エックハルトに於ける受肉のmysterium……………吉 田 喜久子	——三性(mysterium)へ向かう道——
クワインの行動主義的物理学と翻訳の不確定テーゼ……………浜 野 研 三	

會 告

一、本會は會員組織とし會員には資格の制限を設けません、入會希望の方は京都市左京區吉田京都大學文學部内京都哲學會（振替口座京都二一四〇三九番 京都哲學會）宛に規定の會費（年三、六〇〇圓、但し、會誌數冊分）をお拂込下さい

又會員への會誌送付、バックナンバー購入及び發賣に關する一切は東京都千代田區一番町一七番地創文社（振替口座東京二一九二四七二番）宛に願います
一、會員の轉居・入退會の事務及び編輯事務の一切は京都哲學會宛に御通知下さい

一、本誌の編輯に關する通信・新刊書・寄贈雜誌等は本會宛にお送り下さい

京 都 哲 學 會

京 都 市 左 京 區 吉 田
京 都 大 學 文 學 部 内

平成二年三月十五日 印刷
平成二年三月二十日 發行

編輯兼 發行 人 京 都 哲 學 會
京 都 大 學 文 學 部 内

編輯代表(前) 酒 井 修

編輯擔當 濱 野 研 三

賣 捌 所 株式會社 創 文 社

久 保 井 理 津 男

東 京 都 千 代 田 區 一 番 町 一 七 番 地
振 替 口 座 東 京 二 一 九 二 四 七 二
電 話 東 京 三 三 五 一 四 三 六 一 (代 表 者)

印 刷 所 曉 印 刷 株 式 會 社

東 京 都 文 京 區 関 口 一 一 四 四 一 四

註 文 規 定

一、會員以外の購讀者の御注文及び廣告掲載に關する件は「創文社」へ御申込下さい
一、本誌の御注文はすべて代金送料共（一部、送料六二圓）前金にてお送り下さい

THE JOURNAL OF PHILOSOPHICAL STUDIES

THE TETSUGAKU KENKYU

Vol. XLVIII

March

1990

No. 1

Articles

Wie ist die Philosophie Hegels nach Japan gekommen und auf welche Weise ist sie dort übernommen worden?

.....Osamu Sakai

Des anges et des démons chez Malebranche

.....Yoshisuke Yoda

Geschichte und Welt

—*Politische Erfahrungen des jungen Hegel*—

.....Akira Hayase

Das Selbstbewußtsein im Aufstieg in der Fichteschen

Philosophie.....Noriko Abe

Discussion

Philosophy and the Physics of Information

—*In Reply to the Criticism of Mr. Ken Ôba*—

.....Yoshiya Shinagawa

Book Reviews

Chûkei Kumamoto: A Study of Fichte's „Grundlage der gesamten Wissenschaftslehre“

.....Kunihiko Nagasawa

Tadashi Ogawa: The Logos of Phenomena—An Essay in Structural Phenomenology

.....Naomasa Nomura

Notes

Published by

THE KYOTO PHILOSOPHICAL SOCIETY

(The Kyoto Tetsugaku-Kai)

Kyoto University

Kyoto, Japan

ISSN 0386-9563

雑誌コード 06427-3 特別定価3,605圓 (本體3,500圓)